

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和03年03月17日

計画の名称	安全・安心な生活を支える下水道（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	倉敷市												
計画の目標	下水道施設について安全性を向上することにより、将来にわたり水環境を保全するとともに市民の安心した生活を支える。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,031	A	2,031	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	下水処理場の最低限の下水道機能を確保するため、耐震化が必要な施設の耐震化率を0%(H30)から100%(H32)にする。 地震対策施設（下水処理場）整備率 耐震化実施箇所数（計画期間内）÷耐震化が必要な箇所数（計画期間内）×100	0%	75%	100%
2	ポンプ場の最低限の下水道機能を確保するため、耐震化が必要な施設の耐震化率を0%(H30)から100%(H32)にする。 地震対策施設（ポンプ場）整備率 耐震化実施箇所数（計画期間内）÷耐震化が必要な箇所数（計画期間内）×100	0%	100%	100%
3	防災拠点のうち、小中学校におけるマンホールトイレの整備率を0%(H30)から100%(H32)に向上させる。 マンホールトイレの整備率 マンホールトイレの整備済み箇所数（計画期間内）÷マンホールトイレを整備すべき箇所数（計画期間内）×100	0%	68%	100%
4	大雨時等における下水道機能の停止等を未然に防ぐため、雨水ポンプ場の整備率を0%(H30)から100%(H32)にする。 浸水対策（ポンプ場）整備率 対策済み箇所数（計画期間内）÷対策が必要な箇所数（計画期間内）×100	0%	80%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	倉敷市	直接	—	終末処理場	改築	地震対策事業（水島下水処理場）	汚泥処理棟・沈砂池・流入きよ・汚水放流きよ	倉敷市	■	■	■			530		策定済
		総合地震																	
	A07-002	下水道	一般	倉敷市	直接	—	終末処理場	改築	地震対策事業（玉島下水処理場）	地下管廊・放流きよ	倉敷市	■	■	■			380		策定済
		総合地震																	
	A07-003	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ場	改築	地震対策事業（水島東ポンプ場）	沈砂池 揚水施設	倉敷市	■	■	■			71		策定済
		総合地震																	
	A07-004	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ場	改築	地震対策事業（調査・計画・設計 ポンプ場）	委託費	倉敷市	■	■	■			64		策定済
		総合地震																	
	A07-005	下水道	一般	倉敷市	直接	—	管渠（汚水）	改築	地震対策事業（調査・計画・設計 管きよ）	委託費（マンホールトイレ下部工・人孔浮上防止対策工）	倉敷市	■	■	■			28		策定済
		総合地震																	
	A07-006	下水道	一般	倉敷市	直接	—	管渠（汚水）	改築	地震対策事業（人孔浮上防止対策）	人孔浮上防止対策工 90か所	倉敷市	■	■	■			71		策定済
		総合地震																	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	倉敷市	直接	—	管渠（	新設	地震対策事業（減災対策	マンホールトイレ下部工 25	倉敷市	■	■	■			178		策定済
		総合地震																	
	A07-008	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ	改築	老朽化対策事業（阿津ポ	主ポンプ設備・屋上防水・フ	倉敷市	■	■	■			217		策定済
		ストックマネジメント（浸水対策）																	
	A07-009	下水道	一般	倉敷市	直接	—	—	新設	浸水対策事業（調査・解	委託費	倉敷市	■	■	■			40		未策定
		雨水管理総合（浸水対策）																	
	A07-010	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ	改築	老朽化対策事業（船穂雨	監視制御設備	倉敷市		■	■			18		策定済
		ストックマネジメント（浸水対策）																	
	A07-011	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ	改築	地震対策事業（倉敷中第	ポンプ棟	倉敷市		■	■			88		策定済
		総合地震																	
	A07-012	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ	改築	地震対策事業（阿津第2	ポンプ棟	倉敷市		■	■			24		策定済
		総合地震																	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	倉敷市	直接	—	終末処 理場	改築	地震対策事業（調査・計 画・設計 処理場）	委託費	倉敷市		■	■			4		策定済
		総合地震																	
	A07-014	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ 場	改築	地震対策事業（倉敷中第 1 ポンプ場）	ポンプ棟	倉敷市		■	■			84		策定済
		総合地震																	
	A07-015	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ 場	改築	地震対策事業（下の町ポ ンプ場）	ポンプ棟・沈砂池・吐水槽	倉敷市	■	■	■			218		策定済
		総合地震																	
	A07-016	下水道	一般	倉敷市	直接	—	ポンプ 場	改築	地震対策事業（船穂雨水 ポンプ場）	放流渠・流出渠	倉敷市	■	■	■			16		策定済
		総合地震（浸水対策）																	
											小計						2,031		
											合計						2,031		

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

<p>中間評価の実施体制</p> <p>倉敷市環境リサイクル局下水道部下水経営計画課において、指標の効果発現の確認を行った。</p>	<p>中間評価の実施時期</p> <p>令和3年3月</p> <p>公表の方法</p> <p>倉敷市ホームページにて公表</p>
--	--

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合地震計画に基づく、対策の実施により地震時の安全向上が図られた。 ・ストックマネジメント計画に基づく、対策の実施（雨水事業）により事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化が図られた。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地震対策及び老朽化対策（雨水事業）を実施し、目標達成を図っていく。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	地震対策施設（下水処理場）整備率		
	中間目標値	75%	老朽化対策工事等の調整により中間目標値を下回ったが、最終目標に向けて事業は確実に進捗している。
	中間実績値	50%	
地震対策施設（ポンプ場）整備率			
2	中間目標値	100%	
	中間実績値	100%	
3	マンホールトイレの整備率		
	中間目標値	68%	
	中間実績値	68%	
浸水対策（ポンプ場）整備率			
4	中間目標値	80%	工事発注単位を見直したため、中間目標値を下回ったが、最終目標達成に向けて事業は確実に進捗している。
	中間実績値	60%	